

宮崎県日産グループ2社共同でのSDGsの取組により

キャッシュレス化で 車椅子を寄贈しました

2021年より続く宮崎県日産グループのSDGsへの取り組みの一つとして、今年度は宮崎市の跡江にある社会福祉法人まほろば福祉会様へ2台の車イスを寄贈いたしました。

今年で3年目の取り組みで今後も継続していきます。



宮崎県日産グループのSDGsの取組による地域社会への貢献

キャッシュレス化で どうやって車椅子を寄贈するの？

- 1** お車の購入代金を現金支払いではなく、銀行振り込みでのお支払いをお願いします
- 2** 銀行振り込みでお支払いいただ分を領収書発行削減分とみなし、その収入印紙相当額を寄贈の原資として積み立てます
- 3** 積み立てたお金を車イスの購入に充て、福祉施設やNPO法人に寄贈いたします
- 4** お客様一人ひとりからの温かいお気持ちを必要としている方のもとへみなさまのご協力、よろしくお願いいたします



宮崎県日産グループ SDGsへの取り組み

私たち宮崎県日産グループは、持続可能な経営戦略としてSDGsの取り組みを2021年度より会社経営に取り入れてまいりました。

宮崎県日産グループの事業活動の中にもSDGsの基本理念と多くの共通点があります。

その数ある項目の中で、当社はお客様より代金をお支払頂く際、事故防止等の観点から現金で回収するのではなく振込(キャッシュレス化)へシフトする活動をかねてから推進してまいりました。

お客様に「振込」での支払いをお願いすることで、その際の代金授受に関する領収証の発行は基本不要となります。我々はその点に着目し、これまで現金で代金を回収した際には領収証に既定の印紙を貼っておりましたので「発行したであろう」領収証に貼りつける収入印紙代相当額を積み立てることにしました。そしてその積み立てた収入印紙相当額を原資として、その一部より地域の福祉施設に車椅子を寄贈しようといった目標を掲げました。

我々日産自動車の一員は電気自動車の普及と地域の社会福祉への貢献を掲げてできるだけ持続的な社会貢献活動を社員一丸となって今後も取り組んでまいります。

日産サティオ宮崎・宮崎日産自動車 SDGs共同宣言

持続可能な企業を目指すための 私たちの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 事業活動を通じた地域への取り組み

① 電気自動車を身近な存在にします

移動式電源にも活用できるリーフとV2Hを使ったエネルギーの自給自足を広め、CO2削減に貢献します。さらに災害時の地域貢献に努めるため全国各地に広がる「日産ブラススイッチ」活動を推進します。

- ・災害時の防災協定の締結
- ・協定を締結した自治体にある店舗へパワームーバーの配備



② 地域の社会福祉に貢献します

「キャッシュレスの推進」を促進し、お客様へお支払を振込でお願いし、それによって削減された収入印紙代相当額を積み立て、たまった金額で県内の福祉施設へ車イスを寄贈します。

- ・日産宮崎会を通じた県内図書館への本の寄贈や、スポーツ大会への協賛
- ・県内の福祉施設への車イスの寄贈



2 環境への取り組み

① プラスチックごみを減らします

ショールームで提供する飲料に使われるプラスチック製品のうち、まずはストローを紙製品へシフトしプラスチックごみの海洋汚染問題解決に貢献します。



3 教育及び人材育成への取り組み

① 社員の健康増進を目指した取り組みを行います

健康経営優良法人を目指し、心身ともに健康な社員を育てます。

- ・健康診断の全社員受診及び健康診断後の二次チェックの実施
- ・インフルエンザの海洋予防接種の実施



② 交通事故を減らします

自動車産業に携わる者としてまずは身内から交通事故を起こさないためにも職場内での事故防止、安全運転管理に努めます。

- ・始業前のアルコールチェックや体調管理の相互確認の実施



③ お互いを高めあう質の高い社員育成に努めます

お客様一人一人の立場に合ったカーライフを提案できる社員育成のための教育を両社で協力します。

- ・スキルアップ教育の共同開催
- ・販売やサービス技能コンテスト等の共同開催

